第1号議案　平成30年度　活動報告

1．1　各委員会の活動報告及び次年度計画

総務委員会	(委員長)平野輝美　(副委員長)二川真士　(委員)渋谷貞雄

▸総会・役員会
定時総会および役員会(奇数月)を開催支援しました.
▸例会
月例会議(PPM)(および運営会議・SIG連絡会議等)を開催支援しました.
▸会員入会・退会管理
会員入会・退会管理を行いました. 関連して会員名簿と送付名簿を整備します.
▸顧客台帳の整備
昨年度に継続して, 様々な活動で得た顧客台帳を整備しました. 但し, 活用不十分.
▸文書を整備
東京技術士会書式一式を制定し, アップデートしました(継続する).
▸マイナンバー, コンプライアンス等の制定, および教育について各委員会を支援しました.
▸産業交流展への出展
産業交流展2018に出展しました. 支援を行いました.
▸10周年記念事業について, その開催支援を実施しました.
▸その他
東京技術士会の円滑な活動に必要な諸事を支援いたします.

＜次年度計画＞
▸総会・役員会
定時総会等, 定時役員会等を開催支援します.
▸例会
月例会議(PPM)(および運営会議)を開催支援します.
▸顧客台帳の整備
昨年度に継続して, 様々な活動で得た顧客台帳を整備します.
▸文書を整備
東京技術士会書式一式を制定し, アップデートします.
▸マイナンバー, コンプライアンス等の制定, および教育について各委員会を支援します.
▸産業交流展への出展
産業交流展2019に出展支援を行います.
▸会員入会・退会処理　入会・退会処理を行います. 関連して会員名簿と送付名簿を整備します.
▸その他
東京技術士会の円滑な活動に必要な諸事を支援いたします.
▸委員拡充
総務委員を拡充します.

財務委員会	(委員長)進藤秀明　(副委員長)渡辺芳照、小峰史郎

＜本年度活動報告＞

1．　業務対応報酬検討委員会報告
各業務委員会業務活動の活性化を図り、外部からの受注活動を活発化することを目的とし、業務対応報酬検討委員会を立ち上げ、検討会を開催し、昨年答申案を提出し承認されたが、具体的事例を答申した。委員会メンバーは次に示す。(平野　輝美、大野　知彦、小佐野　市男、奥田　孝之、木村　稔、小峰　史郎:敬称略)
答申案は、2018/04/25 の理事会で承認された。

2．　財務処理パッケージとしてソフトの「freee」を使用しているが、従来使用していた勘定科目と「freee」の勘定科目とが合わず、前期に引き続き、置き換えを推進中。

＜次年度計画＞
1．「freee」の早期戦力化。

事業委員会	(委員長)小佐野市男　　(副委員長)武田悦男

＜本年度活動報告＞
◆勉強会の開催
・SIG 合同連絡会議の後半時間に勉強会を開催。会員の実務経験・特殊技能等に係るテーマ11について実施。詳細は以下のとおり。

実施月	テーマ	講師
4	発展途上国への日本が得意とする管理技術の伝承	片桐圭司
6	人口減少社会と社会資本整備	佐伯　勲
7	民法改正で変わる瑕疵担保責任	奥田孝之
8	技術士資格と営業活動―個別事例紹介―	平野輝美
9	中小製造業の IoT への取り組み事例:経産省中核企業創出支援事例	三宅幹雄
10	現場目線で IoT を考える	杉浦守彦
11	土壌汚染の現状	佐藤儀一
12	私の遍歴と海外 SME 向け IoT 提案事例	伊藤俊彦
1	東京技術士会による JICA を通じた海外支援を考える情報の共有	山下直樹
2	量産材の品質不良に対する対応について～薄鋼板を例にして～	新井田有慶
3	SDGs経営(持続可能な開発目標による経営)	武田悦男

◆産業交流展 2018 への出展
・2018 年 11 月 14 日(水)～11 月 16 日(金)　場所:東京ビッグサイト
(東6ホール:機械・金属エリア(機械10－3)
・出展社プレゼンテーションの実施(奥田広報委員長)。テーマ:経営課題・技術課題の解決を支援
・PEIT 展示ブースへの集客のため、動くライントレースカーを展示した(中島)。
・展示物搬入搬出・ポスター・チラシ等の配布、事業者ヒアリングの実施等。
協力者(順不同):二宮、平野、大野、木村、奥田、平泉、志澤、片桐、進藤、山根、伊藤、橋本、竹田、新井田、片上、武田、小佐野
・実施事項:出展事業者を訪問し PEIT を PR。状況を「出展企業様ヒアリングノート(大野提案)」に記録、今回は 14 事業者について記録した。事業者と PEIT の協業関係構築の種とする。
◆外部セミナーの開催企画:今回は開催できなかった。

＜次年度計画＞
◆勉強会の開催
・SIG 合同連絡会議の後半時間に勉強会を開催する。平成 30 年度と同様。
◆産業交流展 2019 への出展
・令和元年 11 月 13 日(水)～15 日(金)に開催予定。場所:東京ビッグサイト。昨年同様の参加を検討する。
・今回も昨年同様に、出展事業者を訪問し PEIT 業務を PR する。訪問事業者については「出展企業様ヒアリングノート」に記録、事業者と PEIT のウイン・ウインの協業等の種を探すこととする。
◆外部セミナーの開催企画
・外部向けセミナー開催を引き続き検討する。

企画委員会	(委員長)大野知彦　　(副委員長)佐藤儀一　(委員)熊田成人

＜本年度活動報告＞
◆中期事業計画及び活動計画に基づく活動が確実に実行されていることを運営委員会で報告を求めたが今ひとつ実効性のある活動成果が得られなかった。次年度以降の課題である。
◆全会員に対し、ロゴ及び顔写真入り名刺の作成を手配した。

◆令和元年度　中期事業計画及び活動計画を策定した。

＜次年度計画＞

◆令和元年度計中期事業計画及び活動計画に基づく活動が確実に実行されていることを、運営委員会で経過報告を求めるとともに、より実効性のある活動を模索し、活動活性化を推進する。

◆経産省（関東経産局）関連の事業を積極的に推進する。

・省エネルギー相談地域 PF 構築事業の補助事業者として応募する。
・スマートものづくり応援隊事務局として応募する。
・認定支援機関としての活動を活発化する。
・ミラサポ専門家登録、新現役交流会 Management Mentor 登録を推進し、活性化を図る。

広報委員会	（委員長）奥田孝之　（副委員長）片上裕紀　（委員）

＜本年度活動報告＞

◆初めての会誌発行

東京技術士会で初めて技術論文を掲載する会誌(創刊号)を発行した。中綴じ 8 ページ構成とし、内容を巻頭言、技術論文 2 編、技術解説 1 編とし、分かりやすく見やすくした。

会誌は定例会での配布のほか、平成 31 年 2 月の 10 周年記念で来場者に配布された。

東京技術士会報　創刊号
(2018 年 11 月)

◆展示会における広報活動（プレゼンテーション）

東京ビッグサイトで開催された産業交流展期間中、東６ホールサブステージにおいて、平成 30 年11月 15 日(木)15:55 より、東京技術士会の出展者プレゼンテーションを行った。タイトルは『経営課題・技術課題の解決を支援する東京技術士会』であった。

15(木)	株式会社川村インターナショナル	13:00−13:15	みんなの自動翻訳@KI（商用版）のご紹介
	押入れ産業株式会社	13:25−13:40	街に彩りを、暮らしにゆとりを。『レンタル収納スペースPiO』
	株式会社タイガー	13:50−14:05	77万件の動画から学ぶこれからのドラレコ活用方法
	株式会社セイコーウェーブ	14:15−14:30	近接目視３D計測・解析システムのご紹介
	有限会社カンノ・カンパニー	14:40−14:55	動画を活用しよう！中小製造業での動画活用事例のご紹介
	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	15:05−15:20	原子力機構の製品開発支援制度と技術シーズのご紹介
	株式会社空スペース	15:30−15:45	ADB（自律分散式転がり軸受）
	一般社団法人東京技術士会	15:55−16:10	経営課題・技術課題の解決を支援する東京技術士会
	株式会社トラベリエンス	16:20−16:35	TripleLights～新しい旅のスタイルの提案～

◆ポスターの更新

展示会用ポスターの更新を行った。既存ポスターの種類と同じとし、サイズは現行の A0 版を踏襲し、素材を水濡れに強く、**破れにくい布印刷とし、形状はタペストリー形式とした、普段は巻き取れるので、保管スペースの節約となる。ポスターは全部で 5 種あるが、そのうち、No1 を示す。**

ポスターNo1

◆インターネットを通じた広報の推進

勉強会の講演の講演者に Facebook 原稿を依頼し、順次掲載した。

2018 年度は、6回の講演情報と 5 回の広報記事提供を行った。

公開日、タイトル、講演者、リーチ数は次の通りである。執筆は原則として各講演者としている。

No	タイトル	講演者	リーチ数	投稿日	備考
1	よくわかる 伝わる表現力とは	JリポートIP東満社長、河野聡子副代表	90	H30.4.5	
2	発展途上国の企業従業員に対する日本が得意とする管理技術の伝承	片桐圭司　技術士	183	H30.6.5	
3	民法改正で変わる瑕疵担保責任	奥田孝之　技術士	110	H30.8.5	
4	中小企業のIoTへの取り組み事例	三宅幹雄　技術士	192	H30.10.15	
5	現場目線でIoTを考える	杉浦守彦　技術士	110	H30.12.1	
6	講師のビジネス/技術の遍歴紹介と海外SME（中小製造業）向けIoT提案事例	伊藤俊彦　技術士	105	H30.1.12	

MO	タイトル		リーチ数	投稿日	備考
1	10周年記念行事告知	広報委員会	88	H30.9.20	
2	産業交流展告知	広報委員会	104	H30.11.14	
3	出展ブース	広報委員会	116	H30.11.15	
4	平成30年の忘年会	広報委員会	107	H30.12.29	
5	設立10周年記念式典	広報委員会	116	H31.2.27	

平成 30 年度は公開可能なテーマをもつ技術士が少なかったため、掲載数が減ってしまったことは残念である。

＜次年度計画＞　広報委員会

平成 30 年度は、次の企画を計画する。

(1)パンフレットの発刊による広報活動

顔入りパンフレットの更新を図る。

一般に広く技術士会と技術士を知ってもらう媒体として有用である。

そのほか、会員からの要望に基づき、臨時パンフレットを作成する。

(2)インターネットによる広報活動

Facebook 東京技術士会に東京技術士会公式行事の告知、SIG合同会議勉強会、展示会等の情報をタイムリーに掲載する。

(3)技術士・技術士会を広報する動画製作

技術士・技術士会を広く知ってもらう媒体として、動画制作は有効と考える。

コストはかかるが、展示会、ホームページ掲載など活用の機会は広い。

1年以上の懸案であるため、今年は実現したい。

(4)会報の継続発行による広報活動

会として初めての会報の発刊を継続し、企画とりまとめ編集を推進する。

技術士にふさわしい技術的なレベルを維持しつつ、分かりやすく、客先の信頼を得ることに役立つ資料を目指す。

HP委員会	(委員長)木村　稔（委　員)面来周一

1. ホーム更新
   - 設立 10 周年、平成 30 年度情報セキュリティ監査企業台帳登録、第 21 回産業交流展2018 出展などを掲載
2. 会社ご案内
   - 運営の東京技術士会業務実施組織図の更新、個人情報保護方針の掲載など
3. SIG＆サービスメニュー
   - 中小企業支援プログラムを中小企業支援センターに統合、物流効率化支援センターの内容を更新
4. 各種支援メニュー
   - 更新は特に無し
5. 公開している資料
   - 東京技術士会創立 10 周年記念誌、PEIT 東京技術士会報 創刊号、平成29年度事業報告書を追加、東京技術士会パンフレットを更新
6. お問合せ
   - 更新は特に無し
7. 入会ご案内
   - 更新は特に無し

8. 会員のページ
- 規程類一覧表・管理台帳の規則（個人情報保護管理規則第２版）、規則ほかリスト（改正個人情報保護法の概要）を追加
- 議事録等追加：第10回定時総会議事録、H30年度中期事業計画書、H30年度事業計画書・予算計画書・事業報告書・決算報告書、第58回～第64回理事会議事録、第102回～第114回運営委員会議事録、第98回～第107回SIG合同連絡会議議事録
- 会員名簿等更新：会員名簿、・役員会、委員会名簿、【SIG】登録メンバー一覧、・メーリングリスト一覧
- 勉強会資料集追加：奥田、三宅、杉浦、佐藤、伊藤の各会員
- 年間主要日程更新
- 資料集の収納リスト（活躍する会員の声）を追加

7. メーリングリスト／メールアドレス更新：会員、役員、委員会、SIGおよび新入会員への案内通知
8. 外部向けページの WordPress によるリニューアルを検討したが中断
9. 毎月のHP更新内容をメール通知

＜次年度計画＞
- PEITのWebサイト各ページの確実な更新
- メーリングリスト／メールアドレスの速やかな更新

１．２各 SIG の活動報告

平成 30 年度各 SIG 活動計圃･予算及び活動実績･売上高/実績人件費･経費

SIG 名 （略称： リーダー名）		活動内容の要約
中小企業支援センター （SSC：武田）	計画	①公的機関とつながりを持つ ・登録；都中小企業振興公社、工団連、東京商工会議所（登録者把握） ・ニーズ調査（公的機関、日刊工業新聞などのニーズをつかむ） ②チラシ・ポスター（展示会向）作成 ③展示会（産業交流展）出展 ⇒H30 年度より TSP を SSC に統合する。
	実績	①もの補助審査（5/15～19、9/28～10/5）のべ 100 名以上対応した。 ②産業交流展ヒアリング 57 社 ③産業交流展出展（11/14～16）
公的事業協力センター （HSC：奥田）	計画	①案件情報の収集（ただし他SIGの活動範囲を除く） ②案件受注時は受託先との連絡、会員との連絡調整を行う。 ③対応会員募集、受付、名簿等の作成 ④業務推進に伴うトラブルへの対応 ⑤上記に関連した業務
	実績	①東京都中小企業団体中央会にコンタクトし、情報収集し、ものづくり審査を引き続き受託し、H30 年 7 月（一次）、H30 年 11 月（二次）に入金した。 ②案件受注時に受託先との連絡、会員との連絡調整を行った(2 回)。 ③案内文書作成、会員募集と広報、応募受付、名簿等の作成、送付(2 回)。 ④）業務推進に伴うトラブルへの対応 ⑤上記の関連業務
知的資産経営支援センター （IAMS：深澤）	計画	①　知財ビジネス評価書のモデルを作成する。 ②　①に基づき評価・診断書の関係機関へのPR及び評価先の発掘を進める。
	実績	①　評価書モデルを作成した。 ②　今年度はPR進まず。
物流効率化支援センター （LSC:山根）	計画	①認定支援機関に係る情報収集および関東経済産業局のマネジメントメンター制度等を通して、ミラサポの専門家派遣の業務を発掘 ②東京都および東京電子自治体の物流関連業務を含む案件の入札に参加 ③外部団体と連携して事業領域を拡大
	実績	③に関し、日本MH協会の中小企業等経営強化法に係る証明書発行およびMH大賞の審査を行った
官公需情報センター（KIC：二宮）	計画	①　都環境局窓口対応業務を（株）中央開発社より受託 ②　水道局 ISO 関連は引き続き受託を狙う ③　自治体工事監査は多摩地区自治体からの引き合いも増えてきているので引き続き対応 ④　JICA 案件受託を目指す ⑤　品川区都のコラボレーションに期待 ⑥　東京都公募案件への積極的参画を目指す

	実績	① 受託 ② 受託案件と失注案件があった。 ③ 数自治体から受託した。 ④ JICA 案件受託はなし。 ⑤ 品川区カタリスト受託。 ⑥ 受託実績は無い。
ICT 活用支援センター（ICTC：木村稔）	計画	①情報セキュリティ監査企業台帳登録と東京都各局セキュリティ監査業務の受託 ②マイナンバー対応支援メニューによる受注活動 ③中小企業規模別 ICT 活用支援メニューによる受注活動
	実績	①監査企業台帳への登録は実施したが、監査業務の受託は出来ず。 ②マイナンバー対応支援メニューによる受注は出来ず。 ③規模別 ICT 活用支援メニューによる受注は出来ず。
海外進出支援センター（OSC：二宮）	計画	① JICA/国交省国際セミナー ② 日本ベース社顧問継続 ③ JICA 案件の調達
	実績	計画の番号対応に記入願います。 ① JICA/国交省案件は無かった。 ② 日本ベースは継続した。 ③ なし
こども理科クラブ（CSC：永田）	計画	① プログラミング教室準備 2020 年から初等教育で必須となる このための教材を準備する ② プログラミング教室開催 試行的に有料での教室を開催する・
	実績	①日本技術士会登録わくわく理科教育の会との連携のもとに、raspberry-pi を使った工作教材をスタディした ②教室の開催はこれからである
技術調査センター（TIC：片上）	計画	①東京都の各自治体の工事監査の受注活動 ②東京都内の区役所関連の監査の入札価格決定に必要な情報入手を強化。
	実績	小平市、西東京市、福生市、青梅市、昭島市
技術評価センター（TEC：平野）	計画	①東京都産業労働局創業支援課調査業務を受託すべく活動する.（受託のための準備活動を行う） ②JST等の調査業務等を受託すべく活動する. ③福島プロジェクト
	実績	③福島プロジェクト
表面処理技術研究会(SPTG：平野)	計画	① セミナー等を計画する（日刊工業新聞と連携を進める）

	実績	
農業支援センター（ASC:平野）	計画	①パソナの状況によるため，現体制を維持する(特に変更等を行わない)
	実績	
環境問題研究クラブ（EIRC:佐藤）	計画	① 都環境局窓口対応業務受託 ② 担当者は佐藤、佐伯、江藤、中村氏
	実績	①都環境局窓口対応業務受託 ②担当者は佐藤、佐伯、江藤、中村、山下氏
アーカイブス（ARC：平野）	計画	①東京技術士会会員の要望により複数案件の出版を進める. ②2件の出版を行う(東京技術士会ライブラリシリーズ).
	実績	
セミナー企画センター（SEMI：小佐野）	計画	①外部セミナーを開催し、事業者の目標達成・事業発展・事業継続等を支援し、地域経済の発展に寄与する。併せて PEIT 知名度向上を指向する。 ﾒﾝﾊﾞｰ：二宮、熊田、志澤、渡辺（芳）、小佐野
	実績	① 外部向けセミナーの実施はできなかった。
ISO 構築・改善支援センター（ISOC：志澤）	計画	マネジメントシステムの構築、改善について支援を希望する組織の支援を行う。 【ﾒﾝﾊﾞｰ】:志澤、西宮、平泉、滝沢、熊田、竹田、片桐
	実績	水道局多摩水道改革推進本部落札できた。
	実績	平成30年度各SIGの合計(実績)